

地域づくりセンター報

みかづき

【編集】
三日月地域づくり協議会広報委員会
題字：センター長 藤木節男

春哉集落の紹介

春哉集落は、(NPO)の団体は「おかげあい」です。

北条時頼公のよまれた詩です。詩の語尾の春哉を用いて集落の名前が下志文から「春哉」に変わったと言われています。

集落に保管している、北条時頼坐像は全国に三休ある内の一体です。北条時頼公の自刻坐像と言われ、国指定重要文化財に



秋祭りの神輿



運動会の綱引き

指定されています。あと二休は神奈川県の最明寺と建長寺に保管されています。戸数26戸、人口93人と小高いところにある小さな集落です。30年前には小学生が24人もいましたが、今では小中あわせても1人と寂しい現状です。村づくり活動の一環

として次のイベントを行っています。

1月にトンド焼き
光都学園の子どもたち20人あまりを招待し、集落ボランティアの方々とふれあいを行

2月14日は時頼さんの日
毎年2月14日に集落の方々が集まり、高蔵寺さんに来ていただき、法要を行っています。

10月体育の日
毎年午前中に秋祭り。消防団員が神輿を担ぎ、外孫たちと婦人部役員や集落役員とお客さんたちで各戸を巡回する。午後、集落住民とお客さん達でにぎやかな運動会を実施する。



10月29日いもほり体験
学園の子どもたち20人と外孫たちが交わり、いもほりを行い、昼食にはボランティアの方々によりカレーライスをふるまっていたら、午後にはグラウンドゴルフで一日を楽しく過ごします。

数日でも多くの子どもたちの声が集落に響いたことをお互いに喜びました。今後集落の多くの子どもたちの声が聞こえることを願っています。

島脇集落

兵庫県農業賞受賞をみんなでお祝い

このたび島脇集落の春本鉄夫さんが、花苗の安定した生産体制を確立させ、農林水産業の振興に寄与されたことが認め



祝賀会での春本さん(左上)

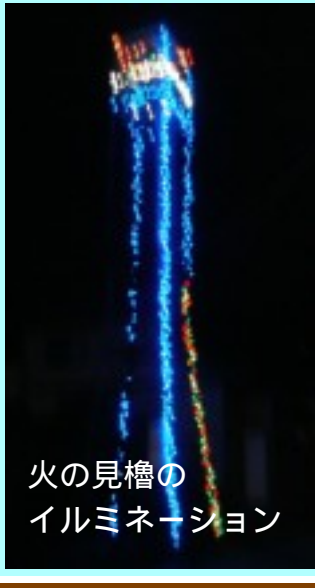


島脇ふれあい喫茶

られ、兵庫県知事から農業賞を受賞されました。集落みんなで忘年会を兼ねて、盛大にお祝いしました。

自治会でイルミネーション設置

平成21年の大災害からの早期復興を願い、火の見櫓を利用して、「がんばろう佐用」の懸垂幕とイルミネーションを昨年まで設置しました。今年もイルミネーションだけでなく、見られる人の心をなごませ、明るく楽しい島脇集落になることを願いました。



火の見櫓のイルミネーション

月一回みんなであい

福祉委員を中心に毎月1回ふれあい喫茶を開催しています。高齢者が中心ですが、時々4世代が参加することもあり、子どもが少なくなつた今、子どもから元気をもらって楽しいひと時を過ごしています。

このセンター報へのご意見をお待ちしています。三日月地域づくり協議会広報委員会

大内谷集合集落

むらづくり研修会

大内谷集落は三日月駅より北へ約5km、県道塩田三日月線の終点で道路添いに家屋が点在しています。戸数は17戸、人口は51人です。65歳以上の高齢者は24人で、高齢化比率は47%という少子高齢化の典型であり、三日月地域では高い数値を示しています。

佐用町合併以降に地域づくり協議会が小学校区単位に設立されて以来、地域の活性化事業の一環として、むらづくり研修会の各様のもとに平成18年から毎年1回開催して、老若男女、若人では保育園児から高校生まで参加し、総出席者は41名となっています。



消火栓点検の様子

今年度は10月30日の日曜日午前9時から、まず最初に、集落内9箇所に設置している消火栓の点検（操作）を行いました。1年に1回の点検ですので、ところによっては濁った水も出る箇所もありました。最後に火災を想定して放水訓練も実施し、特に女性の方には、消火栓の蓋の開け方から放水までの全行程を全員が習得できるように訓練しました。



真剣に耳を傾けます

最後には三日月地域づくり協議会、藤木節男センター長さんにまちづくり（村）極意について、実践例などを交えて話していただきました。センター長さ

んの話術のうまさも手伝って、出席者も納得顔に終始しました。

大内谷の阿弥陀堂



大内谷の阿弥陀如来

大内谷の集落の道路右手川向こうに集落公民館があります。そこに阿弥陀さんが祭つてあります。高蔵寺の寺記や、同寺の寺帳には漏流山円福寺と書かれています。寺僧は仁増の薬師院の住職が兼ねていました。ここに以前あった本尊の阿弥陀如来は、運慶作ともいい伝えるほどのなかなか立派なものであったようです。が、明治34年3月28日の大内谷の大火で川向こうの民家から出火、火は川を渡って寺に燃え移り、本尊はじめ由来書類、新四国53番のお大師さんまですべて焼失しました。それで部落では、同年5月寄附帳をつくり、翌年春それを瓦葺にしました。

これらのことは、この時の寄附帳があるほか、翌35年（一九〇二）1月正月改の円福寺塔請帳があつて、それによって分かります。

連載 朝の通学風景

むらづくり

広山橋の前でさらに合流して、全員がそろう



今回は広山の朝の通学風景です。6年生を筆頭に18人が三日月小学校まで寒い中ががんばって歩いていきます。

集合場所は広山ふれあい広場で広山橋の手前でさらに合流。約15分ほどかけて通学します。三日月地域でも人数は多いほうです。

広山橋を渡る。しっかり並んで歩きます。



広山ふれあい広場に集合

